

学校評価(共通項目)評価書

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A	学校教育目標の具現化へ向け、職員が一丸となって取り組んだ結果、良い評価であった。今後も、目標の教育計画への明確な位置づけと、学校だよりや校内掲示を通して啓発を行い、全教職員で組織的に協力しながら、チーム力を向上させていく。	A	・学校改善アンケートにありますように、職員が一丸となって取り組んでいる姿が随所に見られます。今後もよろしく願います。 ・生徒・保護者の評価は安定して高評価であり、職員の肯定的評価も上昇している。職員のチーム力が上がったと感じます。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	A	避難訓練や登下校の安全指導の徹底により、良い評価であった。今後も生徒の危機意識の醸成に取り組み、震災対応緊急マニュアルを生徒保護者に配布し周知徹底するとともに、地域や校区小学校と連携したあいさつ運動・見まもり活動を継続していく。	A	・生徒の危機意識の醸成の取組継続を、是非願います。校長先生の朝の生徒の出迎え、生徒は"ホット"していると存じます。 ・生徒・保護者の評価が下がっていることにも注目して取り組まれたらよいと思います。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	少人数指導や、T-Tによるきめ細かな指導により、個別の支援が必要な生徒への対応や配慮が効果を上げており、おおむね良い評価であった。家庭から放課後の補習の要望や、家庭学習用動画配信について高評価があったので、学習意欲を喚起するため、さらに指導方法の工夫を進める。	A	・良い評価結果を踏まえ、少人数指導やT-Tを活用し、基礎学力の定着を進めて下さい。 ・保護者は低めに評価しがちですが、生徒は授業に対して「わかりたい」という気持ちで取り組んでいると思います。継続的にご指導ください。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	国・県の学力・学習状況調査の結果を振り返り生徒の実態を把握するとともに、校内研修において、全教科、全教員で授業を相互的に参観し、アドバイスをし合うことにより、教員の実践的指導力が確実に高まった。その結果、良い評価であった。	A	・授業を見ますと、掲示物や教育機器を用い、指導方法の工夫・改善が多々見られ、申し分ありません。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	教職員全員で、学校における約束や生活上のルールについて共通理解を持ち、同一歩調で指導を行うことにより、おおむね良い評価であった。今後も、生徒の様子について情報を共有しながら、学校全体で指導していく。	A	・きちんとした服装、進んでする挨拶ができる愛しい生徒たちです。校外でも然りで大変素晴らしいです。 ・先生方の肯定的評価が下がっているのが気になります。生徒たちの評価は上がってきていますので、生徒の実態に応じた指導をお願いします。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	A	生徒指導部において情報を共有し、積極的な生徒指導・生徒理解を行うことにより、組織としての指導力が向上している。このことにより、良い評価であった。これからも、職員間の共通理解のもと、指導を充実させていく。	A	・生徒たちの為に教職員が一丸となり、総力を結集しているからこそ、学校が落ちついていると確信しています。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	保健体育の授業や部活動の充実に加えて、体育委員会主催の昼休み校庭開放の実施により、体を動かす生徒が増え、良い評価であった。今後も、ボールが扱える場所や外で活動できる場所を掲示したり、運動が不足している生徒にもできる活動の機会を設けるなど工夫をしていく。	A	・肥満の生徒がいらないように思います。運動できる機会の提供を今後もお願いし、心身の健康をお願いします。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	授業において運動量を増やして基礎体力の向上を図るとともに、スポーツテストの結果を掲示し、生徒へ啓発することにより、おおむね良い評価であった。今後は、体育祭・持久走・駅伝大会等の行事を継続・充実させるとともに、テストの結果を踏まえた向上策を検討していく。	A	・スポーツテスト結果に掲示、体力向上の啓発、結果の分析等、労をおかけしますが、これからもお頼みします。 ・自己評価ではBですが、アンケート結果からA評価でよろしいのではないかと考えます。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	ふれあい推進事業やクリーン大作戦、除草・花植えによる美化活動・緑化活動等の連携に加え、授業における学習支援や部活動の指導員などの活用を行った。このことにより、おおむね良い評価であった。今後も、学校の実態に応じた連携を図り、生徒の学力・体力の向上を推進していく。	A	・お願いの項目が多く恐縮に存じます。 ・自己評価ではBですが、アンケート結果からA評価でよろしいのではないかと考えます。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	朝のあいさつ運動や校外パトロール、PTA運営委員会における、地域での生徒に関する情報交換を通して、生徒の安全指導・健全育成を推進することができ、おおむね良い評価であった。今後も連携を深め、地域とともにある学校づくりを推進していく。	A	・時節柄、部活動で暗くなりつつある時間帯に歩いている生徒を見受けます。学校に頼るだけでなく、地域としてできることを考えております。 ・自己評価ではBですが、アンケート結果からA評価でよろしいのではないかと考えます。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満